

住生活空間の省エネルギー化による居住者の健康状況の変化等に関する調査 ご協力をお願い

1 目的

本調査では、下記の点を主目的として行います。

スマートウェルネス住宅（SWH）等推進モデル事業で改修補助を受ける世帯等の、
改修前後の住環境・健康データの収集

2 協力していただく内容

本調査に参加していただくにあたり、ご自宅において、以下のことを夏季調査においては7日間、冬季調査においては14日間にわたって行っていただきます。ご協力いただく内容に相当する謝礼をお渡しします。

- (1) 家庭血圧測定（世帯あたり最大2名）
- (2) 住まいと健康に関するアンケートの回答
- (3) 活動量計装着・日誌記録（世帯あたり最大2名）
- (4) 特定健診等受診結果（写し）の提出（任意）
（特定健診対象外の場合は、定期健診とする。）
- (5) 温湿度計、床部測定用温度計（冬季調査のみ）の設置
- (6) 専門家用アンケート実施への協力
- (7) 次年度以降の調査に向けた協力

3 もたらされるリスク

調査参加時には、以下のリスクが想定されますが、次のように配慮いたします。

- A) 上記の依頼事項 (1) (3) の参加時において、心理的な嫌悪感が生じる恐れ
⇒ 嫌悪感をおぼえた場合、該当の測定の協力を取りやめて頂いて構いません。
- B) 個人情報の扱い方によって不安をきたす恐れ
⇒ 個人情報は厳重に管理し、記号・番号化を施しますので、個々人の情報が特定・流出したり、公表されることはございません。

4 研究協力を同意しない場合

同意しない場合であっても、賠償責任などは発生しないため、不利益を受けることは一切ございません。

5 研究協力の同意の撤回

調査に同意した後も撤回することができますが、謝礼については参加期間に基づく支給となります。

6 プライバシーの保護

測定結果は個人が特定できないように記号・番号化によってデータを管理します。

7 研究結果の公表

対象者本人へのフィードバックを除き、日本建築学会や日本公衆衛生学会等、然るべき学会や論文誌、シンポジウム等で成果を公表する際には、個人の特定につながる記載は一切いたしません。

8 研究終了後のデータおよび試料等の取り扱い方針

紙面媒体のアンケート等は、データの入力と ID 化が完了後、施錠が徹底された倉庫等で 5 年間保全し、その後裁断機・シュレッダー等によって責任を持って廃棄します。ID 化を完了したデータについては、パスワードによる保護やセキュリティを施した上で厳重に管理致します。

また、応募の際に知り得た参加者の個人氏名や連絡先等の情報は、追跡調査や付加調査実施の際に必要なため、ID 化データと切り離し、独立させた上で、厳重に保管します。尚、追跡調査と先行調査の ID 照合作業については、解析に関与しない関係機関の管理下で担当者が実施します。以上の個人情報については実験・分析が終わり次第、専用のファイル削除アプリケーションソフトや裁断機・シュレッダー等によって完全削除・廃棄します。

9 本研究の費用

この調査は、国土交通省の『スマートウェルネス住宅等推進事業（調査事業）』の資金を得て実施します。

10 問い合わせ先

一般社団法人日本サステナブル建築協会（JSBC）健康調査担当（栗原、吉田、青木）

連絡先：電話番号 03-3222-6391（平日10-12時、13-17時）

メール swhsurvey@jsbc.or.jp

協力の同意書

一般社団法人日本サステナブル建築協会
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 委員長
村上 周三 殿

私は、「住生活空間の省エネルギー化による居住者の健康状況の変化等に関する調査」について、目的、方法などに関する以下の説明を文書により受け、内容について十分理解しました。

この書面をもって、私がこの研究に参加することを自由意志で決定したことを示すものとします。

- 1. 研究目的
- 2. 協力内容
- 3. リスク
- 4. 調査に同意しない場合でも不利益を受けないこと
- 5. 調査に同意した後、いつでも同意を撤回できること
- 6. プライバシーの保護
- 7. 研究成果の公表
- 8. 研究終了後のデータおよび試料等の取り扱い
- 9. 費用に関する事項

同意者署名

年 月 日

測定調査協力者① _____

測定調査協力者② _____

任意の同居者用アンケート協力者（複数名の場合は、下記に連続でご署名ください）

一般社団法人日本サステナブル建築協会
スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 調査解析小委員会 委員長
研究担当者署名 伊香賀 俊治 年 月 日